

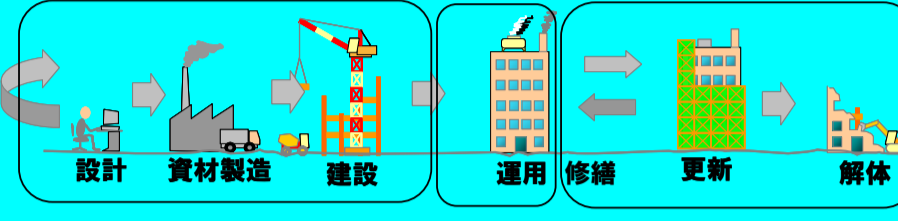


重点評価

 ■使用評価ソフト: **CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)**

1 総合評価の結果

建物名称	株式会社カノウ冷機本社工場新築工事		
BEE(建築物の環境効率)	0.6	BEEランク	B- ★★☆☆☆

2 重点項目への取組み度

重点項目	評価	劣る ←	→ よい
地球温暖化への配慮 (ライフサイクルCO₂) 地球温暖化の主因である二酸化炭素の排出量削減対策に関する項目 LCCO ₂ (ライフサイクルCO ₂): 建設してから解体するまでの建築物の一生(ライフサイクル)で使われる資材・エネルギーをCO ₂ 排出の量に換算し、足し合わせたもの 	LCCO₂ 排出率 89%		100%超 80%超 ~100%以下 60%超 ~80%以下 30%超 ~60%以下 30%以下 ×1 ×2 ×3 ×4 ×5
ヒートアイランド現象の緩和 ヒートアイランド現象(=都市部の気温が周辺部よりも高くなる現象)を緩和する対策に関する項目	スコア 1.5		

3 設計上の配慮事項とCASBEEのスコア (5点満点 平均スコア=3点)

地球温暖化への配慮	レベル	評価のポイント
LR3/1 地球温暖化への配慮	3.4	標準計算によるLCCO ₂ (ライフサイクルCO ₂)排出率を評価
建設	LR2/2.1 材料使用量の削減	2
	LR2/2.2 既存建築躯体等の継続使用	3
	LR2/2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	3
運用	Q1/2.1.2 外皮性能	—
	LR1/1 建物の熱負荷抑制	5
	LR1/2 自然エネルギー利用	3
	LR1/3 設備システムの高効率化	3.2
LR1/4 効率的運用	3	
修繕更新解体	Q2/2.2.1 躯体材料の耐用年数	3

ヒートアイランド現象の緩和	レベル	評価のポイント
Q3/3.2 敷地内温熱環境の向上	1	
LR3/2.2 温熱環境悪化の改善	2	

関連項目	レベル	評価のポイント
LR2/1.1 節水	1	
Q3/1 生物環境の保全と創出	1	

主な指標および効果	再生可能エネルギーの導入状況																						
LCCO ₂ の削減率 (= 1-「LCCO ₂ 排出率」)	11%																						
設計上の配慮事項(自由記述) 躯体と仕上げ材が容易に分別可能な工法の採用	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>有無</th> <th>種類</th> <th>有無</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>太陽光</td> <td></td> <td>バイオマス</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">定格出力 (-)</td> <td rowspan="2"></td> <td>温度差熱</td> <td></td> </tr> <tr> <td>水力</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>太陽熱</td> <td></td> <td>地熱</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>風力</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	種類	有無	種類	有無	太陽光		バイオマス	-	定格出力 (-)		温度差熱		水力	-	太陽熱		地熱	-	風力			
種類	有無	種類	有無																				
太陽光		バイオマス	-																				
定格出力 (-)		温度差熱																					
		水力	-																				
太陽熱		地熱	-																				
風力																							

□ : 入力欄

□ : CASBEE-建築(新築)の採点結果から転記してください。